

《スクール・ミッション》【目指す学校】

先進的・実践的な科学技術教育を推進する学校として、幅広い科学的知識や技能を培い、大学進学に向けた普通教科指導に加え、実験・実習や大学・研究機関と連携した体験学習を豊富に取り入れ、校外外での研究活動・研究発表を充実させることで、将来の科学技術者・研究者として活躍できる生徒を育成します。

《生徒の実態》

- ・理科や実験等に興味関心の高い生徒が多い。研究内容を論理的に説明する力の育成や普通教科の「確かな学力」の定着が課題である。
- ・真面目で大人しい生徒が多い。校外外の研究発表で活躍する生徒がいる一方、学習習慣の質的向上、学習時間の量的向上が課題である。

《予想される社会の変化》

生産年齢人口の減少や高齢化が加速し、SDGsの実現やSociety5.0の到来に向けた現代的な諸課題に対応することのできる人材の育成が求められる。また、情報通信技術の向上に伴い、IoT、AI等を活用できる基盤整理がさらに進展する。

育成したい生徒像

知識・技能の習得に留まらず、獲得した**知識・技能**を効果的に活用するとともに、体験・研究活動を通して**問題解決能力**や**情報活用能力**を高め、校外外での発表会等を通して**発信力**を育む。さらに、望ましい職業観・倫理観、社会に貢献する志をもった将来の科学者・技術者を育成する。

また、進学型専門高校として、**課題研究等の探究活動を中心に据えた教育課程を編成**し、大学理系学部や理工系大学への進学を目指す生徒を育成する。さらに、大学入学共通テストにも対応できる「確かな学力」を高め、**国公立大学・難関私立大学への総合型選抜等の多様な選抜にチャレンジ**する生徒の育成も合わせて行う。

【教育目標】

校訓「英知・創造・調和」のもとに、次の資質・能力を育成する。

- ア 科学技術への興味と関心を伸ばし**創造性**や**問題解決能力**を育てる。
- イ 基礎的な知識と技能を身に付け、**進路実現に必要な学力**を育てる。
- ウ 人間としての在り方・生き方について深く学び、**規範意識**や**望ましい職業観・倫理観**を育てる。
- エ 人を理解し尊敬できるよう**他者と積極的に関わらせ、責任感のある豊かな人間性**を育てる。
- オ **コミュニケーション能力**を高め、**国際社会において主体的に生きる力**を育てる。

《科学技術高等学校において教育活動全体を通して育成したい8つの資質・能力（コンピテンシー）グラデュエーション・ポリシー》
理系大学進学に対応する力、新時代に生きる力、学びに向かう力・人間性

知識・技能の習得	(体系的な) 理解力	知識・技能を定着させ、体系的・系統的な理解力を身に付ける
	活用力	習得した知識・技能を他の分野に活用する力を身に付ける
思考力・判断力・表現力の育成	問題解決力	物事をクリティカルに考え、問題意識を持ち、論理的に思考し、解決する習慣を身に付ける
	情報活用力	情報を収集し、知識や他者の意見を参考にして、行動を決めていく習慣を身に付ける
	発信力	自分の考えを、わかりやすく他者に伝える方法を身に付ける
学びに向かう力、人間性等の育成	自己調整力	自分の学習目標を考えに基づき計画し、粘り強く、実行する力を身に付ける
	協働能力	他者と協働して、研究を中心とした諸活動に取り組む態度を身に付ける
	粘り強さ	問題解決に当たって、粘り強く考え、より良い解決策を導く力を身に付ける

《教育課程の編成及び実施の基本方針(カリキュラム・ポリシー)》

- ① **【教育課程の特長】「スーパーサイエンスハイスクール指定校」として**、学校設定教科・科目の内容を充実させ、数学・理科・英語に習熟度別授業等を多く取り入れ、理系に特化した教育課程を編成する。さらに課題研究等の探究活動を中心に据え、様々な教科で探究活動を取り入れる。
- ② **【学力向上への取組】** 平日45分7時間授業、土曜日は講習等で有効利用する。また、3年次に多様な選択科目を設け、共通テストに対応できる学力を高める。さらに、入学時より「SS特別進学クラス」を設け、国公立大、難関私立大学への多様な選抜方法に挑戦する生徒の育成を行う。
- ③ **【理数教育の推進】「スーパーサイエンスハイスクール指定校」として**、充実した施設・設備を基に、実験・実習やフィールドワーク等の体験的な学びを通して科学技術への興味・関心を伸ばし、問題解決能力を高め、生徒の主体性を伸ばす校外外での研究活動・研究発表の内容充実を図る。
- ④ **【キャリア教育の充実】** 外部研究施設見学や大学研究室訪問、講演会を通して自己の在り方生き方について学び、将来の進路について考える機会を充実させる。また、「**進学指導研究校**」として、外部模擬試験の活用、個別指導の充実、学習支援クラウドの活用を推進する。
- ⑤ **【生活指導の充実】** 挨拶の響く明るい学校を推進し、遅刻指導やセーフティ教室の実施等により、規範意識や望ましい倫理観を育成する。
- ⑥ **【言語活動の充実】「文化部推進校」として**、自然科学部門での発表、海外校との共同研究発表等の活動を通して発信力を育成する。
- ⑦ **【国際理解教育の推進】「海外学校間交流推進校」として**台湾・姉妹校交流や海外研究者講演、英語による研究発表等を実施し、多様な文化を尊重できる態度を育み、国際的に活躍できる科学技術者の育成に努める。
- ⑧ **【行事、部活動の活性化】** 体育的行事や特別活動、部活動等を通して、体力の向上に努め、人間性の豊かな生徒を育てる。

目標達成度評価基準（ルーブリック）表

8つの力	A (レベル3)	B (レベル2)	C (レベル1)
(体系的) 理解力	知識・技能をつなげ、体系的な理解が十分に身に付いている	知識・技能を習得して、体系的な理解力が身に付いている	知識・技能が不確かなため、知識・技能の定着が十分でない
活用力	知識・技能を一分野だけでなく、他の分野に活用できている。	確かな知識・技能を習得し、学習活動や研究活動で活用できている	知識・技能が不確かなため、他の用途に活用が十分でない
問題解決力	問題点に対して論理的に思考し、解決策を導き出す習慣が身に付いている	問題点に関して論理的に思考する習慣が身に付いている	問題点を自分で考えようとしているが、十分な思考に至らず解決できていない
情報活用力	他者の意見を参考にして、データや情報を収集分析して判断する習慣が身に付いている	データや情報を収集・分析して判断する習慣が身に付いている	データや情報を十分な収集・分析に至らず、判断する習慣が身に付いていない。
発信力	わかりやすく、多人数を対象に記述・口述などを通して説明する方法が身に付いている	他者に記述・口述などを通して説明する方法が身に付いている	他者に記述・口述などを通して説明をしようとしているが、十分でない。
自己調整力	計画に基づいて、意欲的に取り組み、積極的に改善を図る力が身に付いている	計画に基づいて、自分で考え、実行できる力が身に付いている	計画に基づいて、自分で考え、実行できる力が十分に身に付いていない。
協働能力	自ら働きかけ、他者と協力して取り組む力が身に付いている	他者と協力して取り組む力が身に付いている	他者と協力して取り組む力が十分に身に付いていない
粘り強さ	問題解決に当たって、多様な考えを受入れ、粘り強く解決策を導いている	問題解決に当たって、あきらめずに、解決策を導こうとしている。	問題解決に当たって、あきらめてしまい、解決策を導くことが出来ていない

※教育活動の種類や活動内容により、身に付ける力の種類や達成度評価基準は異なることがある。

スーパーサイエンスハイスクール

文部科学省より令和3年度から5年間の指定

東京都教育委員会の指定事業

進学指導研究校（令和3・4年度）

文化部推進校（自然科学部門）

海外学校間交流校

東部学校経営支援センター特別指定校

《アドミッション・ポリシー》【本校の期待する生徒の姿（入学者の受入に関する方針）】

- 1 本校の教育目標と教育内容をよく理解し、入学を強く希望する生徒
- 2 理科系大学への進学等、希望する進路実現に向け、日々の学習活動に意欲的に取り組む生徒
- 3 科学技術への興味・関心を持ち、何事にも粘り強く取り組む生徒
- 4 学校行事や生徒会活動、部活動等に、積極的に取り組む生徒
- 5 社会の一員としてルースやマナーを身に付け、自他共に思いやる心を持ち、積極的にコミュニケーションを図る生徒